

生け花

年の瀬も押し迫る年末、利用者様が正月の花の生け込みを行いました。季節感あふれる作品が出来上がり、お正月の間あるふあ国立の玄関を彩りました。



男性の利用者様も多くご参加され、生け花を身近に楽しんでおられました。どれも素敵な作品ばかりで、利用者様の個々の豊かな感性が表現されていました。



ご覧になったご家族様・ご来設の方が一同に「ステキだね!」と、作品に魅入っていました。

事故防止委員会

あるふあ国立では、委員会活動の1つとして事故防止委員会を設置しております。施設内での安全管理の役割を担っております。

利用者様の行動・生活環境に危険な箇所はないか?どの様な危険が潜んでいるのか?を未然に検討し対処しています。利用者様に安全で安心した生活を送っていただくための活動です。万が一ですがほんの些細な事でも何かあった際には、発生の原因を追究、防止策や対処内容について検討を行い、二度と同様の事が起きないように対策を構築しています。



お餅つき

12月、あるふあ国立では来年の福と健康を願い餅つきを行いました。

「せくの!」と合図と共に職員が餅つきを披露すると、「よいしょ!」という掛け声と拍手、歓声があがっていました。餅つきが佳境に入ると、利用者様にも杵を握ってもらい、餅つきを楽しんでいただきました。職員にとっても楽しい時間を過ごせたのではないのでしょうか?

来年も良い年になるよう祈って、みんな美味しくいただきました。みんなでついていたお餅は、格別でしたね!



春分の日

春分の日、3月20日は昼と夜の長さが同じになります。その前後3日ずつの7日間を「彼岸」として、先祖の御霊(みたま)をおまつりする日であり、祝日の趣旨によれば「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とされています。

お彼岸になると春には「ぼたもち」秋には「おはぎ」を供えますが、これは呼び名が違うだけで同じモノです。春は牡丹、秋は萩と、季節の花に例えて呼びわけているのです。

「暑さ寒さも彼岸まで」昔の人々は、体調を崩しやすい、季節の変わりめに体力をつけるためにおはぎを食したそうです。あんこやきなこは体にもよく、栄養価の高い食べ物だからです。



編集後記♪

春の訪れを感じられるようになった今日この頃。今年の冬は例年になく寒かったのですが、春の暖かさを心待ちにしていました。心地よい春の風と共に、新たな気持ちで物事に取り組んでいきます!

居宅介護支援・訪問介護 あるふあ宮町
 ©訪問介護事業 営業日：月～土曜日(日・祝日休業)
 ©居宅介護支援事業 営業日：月～金(土・日・祝日休業)
 ©住所 東京都府中市府中町2-7-3
 フラワーハイホーム401号室

医療法人社団 三水会 介護老人保健施設 あるふあ国立
 ©サービス内容 入所・ショートステイ
 通所・訪問リハビリテーション
 ©住所 東京都国立市谷保1006-1
 ©お問い合わせ先 TEL 042-577-8121 FAX 042-577-8130